

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターあゆむ（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	R 7年1月28日		～ R 7年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	R 7年1月28日		～ R 7年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	R 7年1月28日		～ R 7年2月7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	R 7年2月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先との情報共有を、適切に丁寧に実施している。	児童や生徒の強みを伸ばし、そうでない面についても代弁や思いを言葉に乗せて対応していく。	今後も自事業所で確認できる児童・生徒の様子について、訪問先に情報を提供し、訪問先の様子を共有し、次の対応について検討し実践に移していく。
2	訪問先での状況を、保護者に適切に丁寧に実施している。	面談の機会も活用し情報を提供している。	訪問先や自事業所での様子が具体的に保護者に理解していただけるよう継続していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所等訪問支援事業の制度や目的について正しく伝わっていない訪問先がある。	年度当初に説明しているが、もともとの認知度が低い訪問先も多い。	年度初めだけではなく、年に数回趣旨を説明して周知と理解を得る。
2			
3			